

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会の基準日	毎年3月31日
期末配当金支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 (住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417 (その他のご照会) ☎0120-176-417 (インターネットホームページURL) http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
同取次所	住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 電子公告アドレス： http://www.veriserve.co.jp/e pn/
上場金融商品取引所	東京証券取引所マザーズ
証券・銘柄コード	3724

株式会社 ベリサーブ

〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目24番1号 西新宿三井ビル14F
TEL 03-5909-5700 (代表)

※Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
※その他の社名、製品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。
※その他の登録商標及び商標の所有権は、それぞれの所有者に帰属します。

Web site information



ホームページのご案内

当社のホームページで事業内容、ニュースリリース、IR情報等の様々な情報をタイムリーにご確認いただけます。是非ご覧ください。

<http://www.veriserve.co.jp/>



第7期 中間報告書

2007年4月1日～2007年9月30日

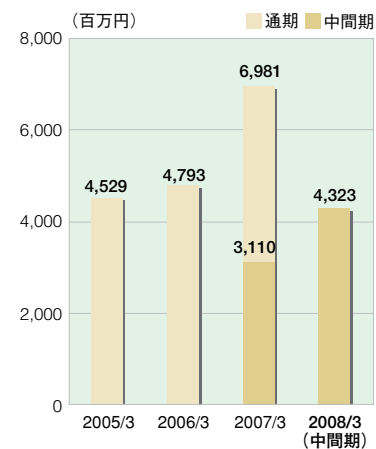
株式会社 ベリサーブ

verification service

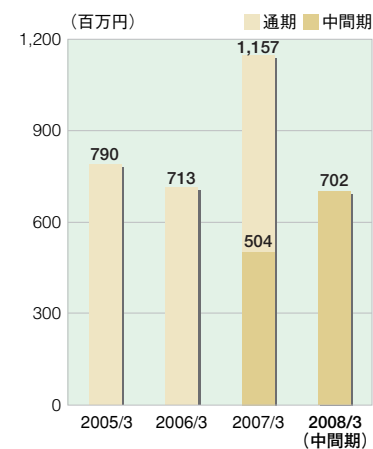
VERISERVE



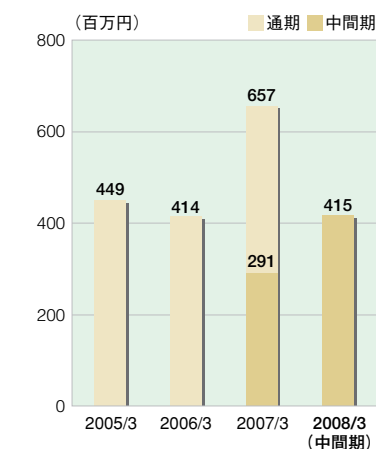
売上高



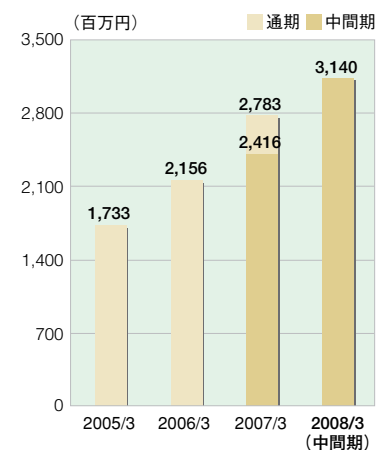
経常利益



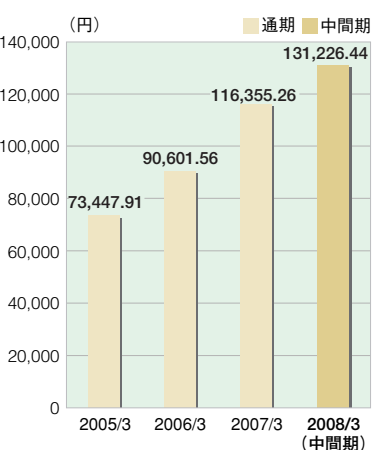
当期純利益



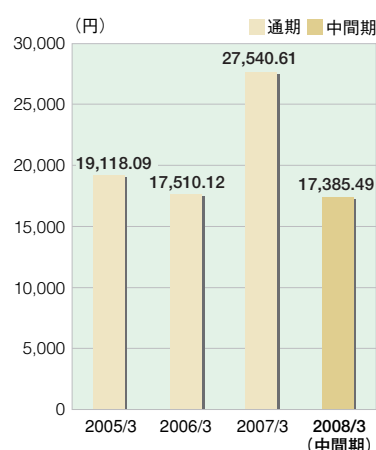
純資産



1株当たり純資産額



1株当たり当期純利益



お客様におけるソフトウェア開発サイクル
全体をサポートし、「安心・快適」な
社会づくりに貢献いたします。



代表取締役社長
浅井 清孝

平素は格別のご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。
2008年3月期中間決算につきまして、ここにご報告
申し上げます。

当中間期は、当社の主要分野（デジタル家電分野・ITS
分野・携帯電話分野）での取引が順調に拡大でき、その
結果、4月に公表しました当初計画を上回り、売上高は前
年同期比39.0%増の4,323百万円となりました。

システム検証業務については、概ね堅調に推移してお
り、技術者の採用・育成に注力いたしました。当中間期
では新卒・中途で38名を採用し、従業員数は218名に達
しました。またシステム検証事業の認知度向上を目指し、
社外でのマーケティング活動をすすめました。具体的
には、当社が主催する「システム検証セミナー」の開催や
日本のものづくりのあり方を品質という側面から考える
日経産業新聞の「つくるプロジェクト」への協賛など
を行うとともに、投資家の皆様に向け、当社システム検証
事業に対するご理解を深めていただくために、従来の機
関投資家説明会のほか、個人投資家説明会を東京、大阪、
名古屋の3カ所で開催し、1,124名の方々にご説明申し
上げることができました。

このような活動の結果、営業利益、経常利益は当初計
画を上回り、中間（当期）純利益は、前年同期比42.6%
増の415百万円とすることができました。

また、「中期経営計画」に対しても概ね順調に推移して
おりますことを、あわせてご報告させていただきます。

各種IT機器においては、急速にソフトウェアの規模が拡
大しており、搭載されているソフトウェアが製品の優劣
を左右するといっても過言ではありません。

一方、製品開発におけるソフトウェア開発費用の比重
が増大しており、お客様における製品開発の「コストダ
ウン」は急務となっています。

当社ではお客様におけるソフトウェア開発サイクル全
体をサポートする「フルライン検証サービス」を提案し
ながら、お客様の品質向上に貢献してまいり所存であり
ます。

今後も株主の皆様のご期待にそえるよう、業績向上に
努めてまいり所存でございますので、引き続き、株主の
皆様のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

平成19年11月

第7回システム検証セミナー開催



当社では、重要性が高まっていく検証（テスト、評価）ならびに品質向上に対して、どのように取り組んでいくべきかを考える場として毎年、「システム検証セミナー」を開催しています。今年は9月7日（金）東京 品川のホテルパシフィック東京にて開催いたしました。当日は台風9号の襲来で公共交通機関が麻痺する中、前年を上回る550名余りのお客様をお迎えし、事例や動向についてのセッションを開催し、ソフトウェアに対するテスト検証の重要性を改めて確認できました。開催内容の詳細については、当社ホームページにも掲載しております。

<http://www.veriserve.co.jp/seminar2007/>

「つくるプロジェクト」に協賛

当社は、日本のものづくり産業が日本の未来を切りひらく力を取り戻すために何をなすべきかを探る日経産業新聞の「つくるプロジェクト」に協賛しております。さる7月20日（金）には、東京大手町の日経ホールにおいて、シンポジウムが開催され、500名余りの方々のご出席をいただきました。当社からは社長の浅井がシンポジウムに参加し、システム検証という立場から話をさせていただきました。



IRセミナー（個人投資家説明会）開催



▲東京会場（2007年8月23日開催）

当中間期において、個人投資家の皆様に当社事業に対するご説明を行うため「システム検証事業の現況と将来について」と題して、日本証券業協会のご協力のもと、個人投資家向けのIRセミナーを名古屋（7月30日）、東京（8月23日）、大阪（9月4日）で開催いたしました。夏の暑い中、3会場で1,124名の個人投資家の皆様にお集まりいただきました。

ご意見いただいた内容について、多く見受けられたものは次のとおりでした。

- 本日の説明会をお聞きになった当社へのイメージ・印象は？
- ・将来進化するIT・ソフトウェアの品質管理に特化した事業で今後、有望な事業分野の事業展開で益々の発展が期待できると思いました。（名古屋）
- ・社長の見識が高く将来を展望した上で着実に経営している企業。（名古屋）
- ・コンピューター社会となり、その役割が益々増える中、検証事業の重要性も増すことは明らかであり、将来性に期待できると感じた。（東京）
- ・好感が持てた。成長性を評価したい、投資してみたい。（大阪）
- ・中味がはっきりわからなかったが、今日で納得できた。（大阪）



▲大阪会場（2007年9月4日開催）



▲名古屋会場（2007年7月30日開催）

組み込みソフトウェアのイベントに出展

ソフトウェアのテスト評価に対する認知度を高めるため、当社のお客様となる方々が来場されるイベントに出展し、ベリサーブの知名度向上に努めています。当中間期は、東京「ESEC2007」、大阪「ET West」に出展しております。



中間決算概要

売上高

4,323 百万円
(前年同期比 39.0% 増)

経常利益

702 百万円
(前年同期比 39.3% 増)

中間純利益

415 百万円
(前年同期比 42.6% 増)

当中間期の概要

当中間期におけるわが国経済は、サブプライム問題や原材料の高騰など海外経済動向の懸念材料が見受けられるものの、企業の堅調な収益拡大が続いており、雇用情勢の改善も広がり、引き続き緩やかな景気回復基調が続いております。

当社を取り巻く環境といたしましては、顧客であるIT機器のメーカーでは製品に搭載されるソフトウェアの規模が拡大しており、企業の垣根を越えた製品開発サイクルの抜本的な見直し、デジタル製品に関連した部門の統廃合などが見受けられ、製品のデジタル化の大きな流れは変わらぬものの、ものづくりにおけるコスト削減は厳しさを増しております。一方、様々な製品で不具合が顕在化しており、製品の品質管理を強化していく企業が増えております。

このような環境の中、当社は第三者の立場でソフトウェアのテスト・評価を行う「第三者検証」を提唱し、製品企画から量産化に至る新製品の開発サイクルにおいて各段階に合わせたサービスを提供する「フルライン検証サービス」の提供を目指しております。

当中間期においては、なお一層の高機能、高性能な製品づくりが加速しております。本格的な普及期に入った薄型テレビでは、より高画質を目指した製品が出荷され、それに対応した次世代DVDレコーダーなどが発売されてきております。一方、携帯電話においては、2006年10月より始まったモバイルナンバーポータビリティサービスの影響により携帯電話端末のバリエーションが広がりました。カーナビゲーション・システムを中心としたITS（高速道路交通システム）分野においても新製品開発は堅調に推移し、検証ニーズが増加した結果、当社のサービスは堅調に推移いたしました。

一方、景況感が改善する中、若手の人材獲得は厳しさを増しており、新卒採用及び中途採用とも積極的にすすめております。この結果、当中間期におきましては、当社従業員数は、新卒採用20名を含め38名増加し218名となりました。また、システム検証（IT関連の製品・システムの仕様確認及び実際の使用環境下での機能確認を中心としたテスト業務）の重要性をアピールするための「システム検証セミナー」やイベントへの出席、その他宣伝活動を実施しました。その結果、販売費及び一般管理費が増加いたしました。

以上のような事業活動の結果、当中間期における業績は左記のとおりとなりました。

事業部門の概況

製品検証サービス

売上高 **4,229** 百万円 (前年同期比 43.6% 増)

開発支援検証サービス	4,133百万円	(前年同期比 43.2% 増)
認定支援サービス	76百万円	(〃 84.8% 増)
検証情報サービス	19百万円	(〃 16.8% 増)

当社の主力事業であります製品検証サービスのうち、総売上の95.6%を占める開発支援検証サービスは、左頁のような主力分野の検証対象製品に対するサービスが堅調に推移したことにより、売上高は4,133百万円（前年

同期比43.2%増）となりました。また、認定支援サービスにつきましては、米国マイクロソフト社の承認を必要とするDesigned for Windows® ロゴ取得の支援を主力としたサービスで、新しいオペレーティングシステムなどが投入されたことにより、これに対応した検証ニーズが増加し、売上高は76百万円（同84.8%増）となりました。検証情報サービスは、IT機器どうしを組み合わせ使用した場合の動作確認情報の提供及びITプラットフォームテストセンターを時間単位で提供するサービスであり、売上高は19百万円（同16.8%増）となりました。

以上の結果、製品検証サービスの売上高は4,229百万円（同43.6%増）となりました。

セキュリティ検証サービス

売上高 **23** 百万円 (前年同期比 2.4% 増)

セキュリティ検証サービスは、顧客の社内システム及びインターネット経由で公開するホームページ、あるいは電子商取引用のインターネットシステムに対し、負荷の許容量や脆弱性を検証するサービスであり、売上高23百万円（前年同期比2.4%増）にとどまりました。

その他のサービス

売上高 **71** 百万円 (前年同期比 50.5% 減)

その他のサービスにつきましては、上記事業部門に分類されない検証業務や顧客企業内でのシステムインフラの構築やシステム開発及び社内システム保守・運用に関するサービスを提供しております。

当社ではシステム検証業務に注力し、新規のシステム開発等を行っていないため、当中間期の売上高は71百万円（前年同期比50.5%減）となりました。

中間貸借対照表 (要旨)

単位：千円

	当中間期 2007/9/30現在	前中間期 2006/9/30現在	前期 2007/3/31現在
(資産の部)			
① 流動資産	3,829,764	2,949,810	3,573,170
現金及び預金	2,489,256	1,018,944	2,356,175
グループ内預け金	-	801,318	-
売掛金	1,130,040	973,378	1,038,117
たな卸資産	30,831	39,856	47,150
繰延税金資産	98,520	62,651	90,790
その他	81,115	53,660	40,935
固定資産	363,629	274,412	344,951
有形固定資産	109,466	36,837	106,565
無形固定資産	67,970	65,241	64,062
投資その他の資産	186,192	172,333	174,323
資産合計	4,193,393	3,224,222	3,918,122

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

	当中間期 2007/9/30現在	前中間期 2006/9/30現在	前期 2007/3/31現在
(負債の部)			
② 流動負債	1,050,076	788,575	1,131,122
買掛金	373,008	323,018	376,417
未払費用	132,777	100,331	121,048
未払法人税等	312,267	226,287	402,021
賞与引当金	148,000	101,000	117,000
その他	84,022	37,938	114,635
固定負債	3,200	18,761	3,200
負債合計	1,053,276	807,337	1,134,322
(純資産の部)			
株主資本	3,140,117	2,416,885	2,783,799
資本金	370,960	370,506	370,878
資本剰余金	354,710	354,256	354,628
資本準備金	354,710	354,256	354,628
利益剰余金	2,414,446	1,692,121	2,058,293
その他利益剰余金	2,414,446	1,692,121	2,058,293
繰越利益剰余金	2,414,446	1,692,121	2,058,293
純資産合計	3,140,117	2,416,885	2,783,799
負債純資産合計	4,193,393	3,224,222	3,918,122

POINT② 流動負債

流動負債は、前期末に比べて81,046千円減少し、対前期末比7.2%減の1,050,076千円となりました。これは、主に未払法人税等及び買掛金の減少によるものです。

中間損益計算書 (要旨)

単位：千円

	当中間期 2007/4/1~2007/9/30	前中間期 2006/4/1~2006/9/30	前期 2006/4/1~2007/3/31
③ 売上高	4,323,776	3,110,979	6,981,598
売上原価	2,923,942	2,104,390	4,741,995
売上総利益	1,399,834	1,006,588	2,239,602
販売費及び一般管理費	704,764	503,977	1,085,964
営業利益	695,069	502,610	1,153,638
営業外収益	16,542	1,827	4,502
営業外費用	9,559	327	578
経常利益	702,052	504,110	1,157,562
税引前中間(当期)純利益	702,052	504,110	1,157,562
法人税、住民税及び事業税	290,760	217,000	533,000
法人税等調整額	△ 4,673	△ 4,552	△ 33,271
中間(当期)純利益	415,965	291,663	657,834

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

中間株主資本等変動計算書

当中間期 (2007/4/1~2007/9/30)

単位：千円

	株主資本			株主資本 合計	純資産 合計
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金 その他利益剰余金 繰越利益剰余金		
2007年3月31日残高	370,878	354,628	2,058,293	2,783,799	2,783,799
中間会計期間中の変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	82	82		165	165
剰余金の配当			△ 59,812	△ 59,812	△ 59,812
中間純利益			415,965	415,965	415,965
中間会計期間中の変動額合計	82	82	356,152	356,317	356,317
2007年9月30日残高	370,960	354,710	2,414,446	3,140,117	3,140,117

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

POINT③ 売上高

売上高は、対前年同期比39.0%増の4,323,776千円となりました。これは、前述のように当社主力サービスが堅調に推移したことが主な要因であります。

中間キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

単位：千円

	当中間期 2007/4/1~2007/9/30	前中間期 2006/4/1~2006/9/30	前期 2006/4/1~2007/3/31
営業活動によるキャッシュ・フロー	241,799	300,451	921,163
④ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 848,910	△ 28,764	△ 114,292
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 59,807	△ 31,761	△ 31,033
現金及び現金同等物の増減額 (△減少額)	△ 666,919	239,925	775,837
現金及び現金同等物の期首残高	2,356,175	1,580,337	1,580,337
現金及び現金同等物の中間期末 (期末) 残高	1,689,256	1,820,262	2,356,175

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

POINT④ 投資活動によるキャッシュ・フロー

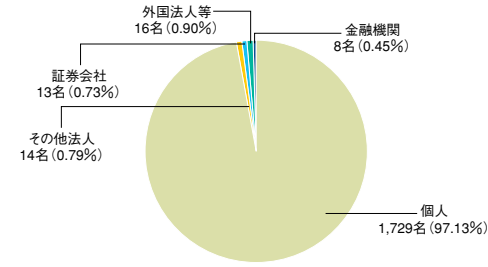
当中間期における投資活動によるキャッシュ・フローは848,910千円の減少となりました。これは主に3ヵ月超の定期預金の預入(800,000千円)によるものです。

- 発行可能株式総数64,000株
- 発行済株式総数23,929株
- 株主数1,780名

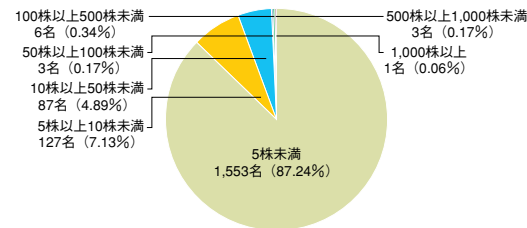
大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
株式会社CSKホールディングス	15,200	63.52
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	991	4.14
ベリサーブ従業員持株会	789	3.30
ピーエヌピー パリバ セキュリティーズサービス ルクセンブルグ ジャスデック セキュリティーズ	544	2.27
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	410	1.71
浅井清孝	400	1.67
バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカ운ツ イー アイエスジー	357	1.49
野村証券株式会社	131	0.55
日本証券金融株式会社	128	0.53
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	110	0.46

所有者別株主分布状況



所有数別株式分布状況



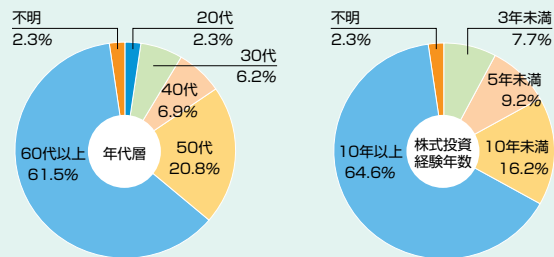
- 商号 株式会社 ベリサーブ
VeriServe Corporation
- 本社所在地 〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目24番1号
西新宿三井ビル14F
- 設立 2001年7月24日
- 資本金 370百万円
- 従業員数 218名
- 事業内容 製品検証サービス：
IT関連製品(ハードウェア、ソフトウェア)のシステム検証
セキュリティ検証サービス：
ネットワークシステムのセキュリティ分野での検証
その他のサービス

- 役員
- 代表取締役社長 浅井清孝
- 常務取締役 北谷利之
- 取締役 高橋豊
- 取締役 加治屋知和
- 取締役 福山義人
- 常勤監査役 前田徹
- 監査役 熊崎龍安
- 監査役 梶原岳男

>>> 株主アンケートのご報告

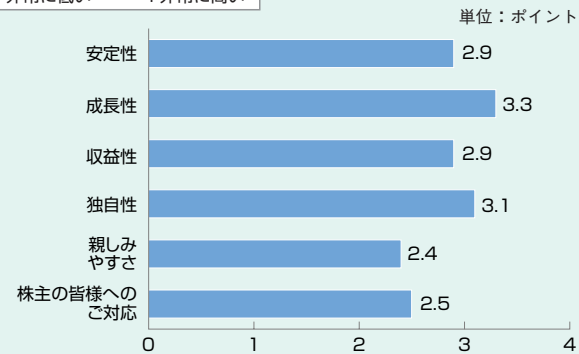
当社では、第6期年次報告書においてアンケートをお願いしました。おかげさまで多数のご回答をいただき、深く感謝しております。アンケート結果要旨につき紙面にてご報告いたします。

回答者のプロフィール

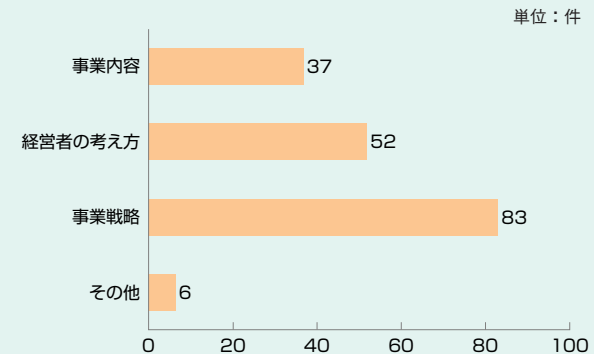


●当社に対するイメージ

1 非常に低い ↔ 4 非常に高い



●当社についてお知りになりたいこと (複数回答)



●年次報告書で興味を持った内容 (複数回答)

